

岡野 健さん

# 「核兵器の廃絶が私のねがい」

## 岡野健さん語る

寝屋川民報  
議会版

### 戦争・被爆体験

### 次世代に伝えることが使命

膚がたれていました。そのうち、体全体が一うずきだしました。

#### 男女の区別も困難な

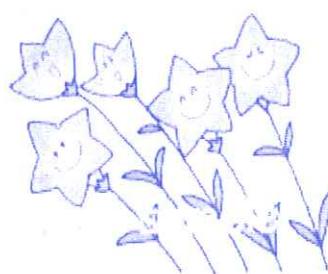
#### 焼けただれた人たち

岡野健さん（市内東香里園町在住）は、広島市の修道中学校に入学し、中学校三年生になると、兵器補給廠に学徒動員で勤務していました。

一九四五年八月六日の朝、雲一つない青空に一筋の飛行機雲を見て、その先端のB29を見た瞬間、ピカッと閃光が走り、耳と目を両手でふさいで伏せました。だんだんからだが熱くなるので、右から左に青いような、橙色のような光が流れるのを見て、火薬庫の爆発かと思って立ち上がりました。これが放射線でした。

一寸先も見えない霧の中、数秒間、音一つない静寂。前が見えるようになると悲鳴と血だらけの人、人。岡野さんも左上半身、コブシ大の水ぶくれが裂けて、皮

岡野さんは、一九五四年頃には体がだるく貧血が続き、白血病と診断されました。現在八十三歳ですが、骨隨異形性症候群と同様な症状で、貧血と白血球減少などがあり、「これは、被爆者であるため」と、医師から言われました。被爆者は今もガンなどの後遺症におびえての生活です。戦争があつたから原爆が落とされました。放射能の被害はいつまでも人を苦しめています。



### 法律相談

8月22日（木）午後6時30分～  
市民会館 2階 第3・4会議室  
弁護士が相談を受けます  
●お問い合わせは党市会議員団へ

### しつかり守ることが重要

家路への途中、男女の区別もわからぬ焼けただれた人、うすくまつている人。幽靈のように、むけた皮膚をぶら下げていました。小学校の同級生は顔が火ぶくれて、口はタコのよう

で、背骨のくぼみに「明日は一緒に島に帰ろう」といつて防空壕に寝かしました。翌朝起こしに行くと、誰一人立ち上がりませんでした。岡

野さんも一人で帰宅後は、四一度の高熱と激しい下痢のため、数日間は記憶がありません。防空壕の中の同級生は、救助されましたが、八月十三日頃あいつで亡くなりました。

### 平和の憲法九条

「戦争は絶対してはなりません。そのためにも平和の憲法九条をしつかり守ることが重要です。次世代の人達に体験を語り続け、理解して頂けるよう努力するが、生き残った被爆者の使命と思っています。」と岡野さんは語ります。

太田 とおる  
高柳2-49-2  
Tel 826-1664

田中 ひさ子  
国松町10-36  
Tel 823-1714

中林 かずえ  
宝町4-33  
Tel 839-2289

中谷 光夫  
高宮2-19-5  
Tel 823-5947

松尾 信次  
下木田町12-6  
Tel 821-7427

八月一日より生活保護費のうち、生活費として支給される、生活扶助費の削減が始まりました。

三年かけて六・五%削減するもので、人数の多い世帯ほど減額幅が拡大します。

厳しい猛暑の中、エアコンがない世帯や、あっても使われない世帯も少なくありません。これ以上の生活費の削減を進める

ことは、健康といのちを削れと迫るものです。

生活保護基準は、就学援助費の支給費や最低賃金額、住民税非課税限度額の目安など、国民の暮らしに関する制度に連動しています。国民の最低生活を保障している制度に、大穴を開けます。保護基準引き下げに、何の道理もありません。

生活扶助費削減例(月単位)			
世帯構成	現行	2016年4月	差し引き
①夫婦と子1人 (30代20代4歳)	160,180	144,200	-15,980
②夫婦と子4人 (40代30代12歳・7歳・4歳・0歳)	237,710	209,110	-28,600
③70代以上夫婦	112,750	106,970	-5,780
④母(父)と子3人 (30代・7歳・4歳・3歳)	175,850	158,910	-16,940

## 生活保護費の削減 市民生活にも影響

顕聞



田中ひさ子

久しぶりに映画鑑賞しました。宮崎駿の「風立ちぬ」で主人公の二郎は飛行機設計家の堀越二郎であり、文学者堀辰雄とも混ざっている。主人公の二郎は飛行機をつくりたい」と飛行機への想いが強い人ですが、戦争が進められる中で、艦上戦闘機や、ゼロ戦などを作らざるをえなかつた人物をどう

評価するか、考えられました。昭和の初期の激動期の二〇年間を生きた人たちの想いが混ざっているアニメでした。バツクミュージックに荒井(松任谷)由美の「ひこうき雲」が流れてくると心にずつしりと響くものがありました。六八回目の終戦記念日を迎え、平和の大切さを感じました。

寝屋川市政について、ご意見ご要望をお寄せ下さい。

# 猛暑が続く中 市民プールがないと困る

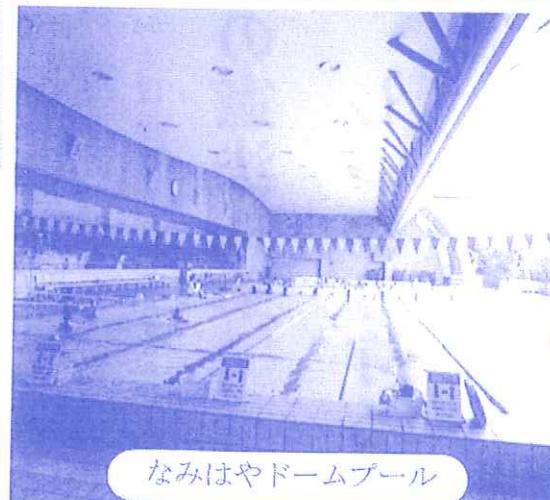
暑い日が続きます。昨年4月から、市立市民プール(南寝屋川公園内)が廃止されたため、こども達や市民が利用できなくなりました。

そのため、市民からは「毎年利用して、気分転換することができたが、利用できず、本当に残念。」

寝屋川市は、市民プール廃止の緩和策として、門真市にある、「なみはやドームプール」の寝屋川



市民プール跡地



なみはやドームプール

市民の利用料の一部を補助しています。しかし、場所が遠く、交通費、駐車料などかかるため、市民の利用は極めて少ない状況です。「市民プールを復活してほしい」この市民の声に、市はこたえるべきです。

あかつき・ひばり園の運営形態の見直し等検討委員会

第10回 8月22日  
午前10時30分から  
総合センターにて

「身边的場所に市民プールを」  
切実な声寄せられる

